

目標は高く、腰は低く

歯学科3年 内田 俊

今回、歯学部ニュースでバスケットボール部の紹介をさせていただく機会をいただいたので、私たちの日ごろの活動やバスケットボールに対する思いを紹介していきたいと思います。

○バスケット部の紹介

私たち歯学部バスケットボール部は男子部14名（プレーヤー9名、マネージャー5名）、女子部21名（プレーヤー16名、マネージャー5名）の計35名で成り立っています。練習は週2～3日で行っていて、GWには北日本大会、夏休みにはオールデンタルという大会があります。部員はみんな仲が良く日ごろの学校生活でも和気あいあいとしています。いざ部活動が始まると楽しくも真剣な眼差しで汗を流しあっています。部員1人1人の個性も強く、ヒゲが1日で生えきって「今ならヒゲで大根おろしするよ」とぶつぶつ言っている人もいれば、部活直前に肉まんと菓子パンを2つつつ食べ、部活中も「お腹すいて死にそう」などと言っている人もいます。

○バスケット部の行事

バスケット部は部活動以外にも様々な行事があります。春にはお花見やキャンプ、夏には浜コンや花

火大会、全国各地に行くオールデンタル、冬にはクリスマス会やスノーボー合宿、追いコンなどがあり、また大会の後には飲み会を開催したり、日ごろ私たちを支えてくれているマネージャーの誕生日にはその都度お祝いをしたりしています。このような行事を通して1年生～6年生まで男女問わずとても仲良くなり、絶えず笑顔があふれる部になっています。

○今年度のオールデンタルに関して

毎年私たちバスケットボール部の戦績は芳しくなく、周りから期待をされることもほぼありませんでした。しかしながら、今年度（2015年8月）のオールデンタルでは女子部は3位という素晴らしい結果を残すことができました。応援してくださった皆様にはとても感謝しております。この場を借りて深く御礼申し上げます。私は試合での女子部の雄姿を見てとても印象に残ったことがあります。それは、女子部の皆はタイムアウト（試合の最中にとれる1分間の作戦タイム）を相手チームがとって、汗だけ拭いてすぐにコートに戻り、「早く来いよ、戦おうぜ」と言わんばかりの風格で相手チームの方を眺めていました。その姿は全盛期のマイケルジョーダンを彷彿とさせました。完全に強豪校でした。

男子部に関しては例年通り全敗に終わったのですが、その負けで感じたものは例年とはまったく違うものでした。その気持ちは言葉で簡単には表し難いですが、男子部14人の中では確かに同じ思いを共有しています。悔しさを力に変え、そこからの男子部は一新しました。日々の練習に対するモチベーションやバスケットボールに対する考え方も変わりました。私たちは来年のオールデンタルで結果を残せる自信があります。楽しみにして



いてください。

外部から練習に来てくれる仲間、仕事の合間をぬってでも来てくれるOBの方、私たちの部活動の環境が少しでも良くなるようにと経済的に支援をしてくださる先生方、そして存在だけでも部員に安心感を与えてくれるのに、加えて仕事までし

てくれるマネージャー、私たちを支えてくれている方々は、自分たちが思っている以上にずっと尊く、そしてとてもありがたい存在であることに日々気付かされ、感謝しています。そんな方々の期待に、部員一同全力のプレーで応えていきたいと思っています。



筆者一番右



新潟大学医歯学ソフトテニス部

歯学科3年 佐藤 隆 介

私は入学当初、部としてあるのが当然と思っていた歯学部ソフトテニス部が、実は立ち上げられてまだ3年という新しい部活動であり、部員も数人であるという事実に衝撃を受けました。しかし今や11人（卒業生含む）と人数も増え、着実に大きな部へとなりつつあります。それでもこの人数で部活動ができるのか、疑問に感じられる方もいると思いますが、私たちは医学部の人たちと一緒に部活をやっています。月・水・土と行う普段の練習はもちろん、春季・秋季北日本医歯学生総合体育大会（通称北医大）などの大きな大会も1つのチームとして参加します。全日本歯科学生総合体育大会（通称デンタル）は歯学部でのみの参加となりますが、少人数ならではの楽しさもまたあるので、毎年大会ごとに思い出が増えていきます。他大との交流戦、OBOG戦の他にも、旅行やイベントも多々あり、学部学科の隔たりをまったく感じさせないほど、日々仲良く楽しく活動しています。歯学部ソフトテニス部と医学部ソフトテニス部による「医歯学ソフトテニス部」として、人数は合わせてなんと70名にもおよび、旭町キャンパスで最も規模の大きな部活動になるのではないかと思います。大学から初心者で始めた人でも大会で結果を残せるようになるほど成長することができ、また初心者から元国体選手までいろんな部員がいて、こんなにも多くのテニス好きな人たち、同じ志を持った人たちと共に練習に励むことができる雰囲気の中で部活動が行えることは、私自身とても幸せなことだと改めて感じています。

私は中学高校と好きで軟式テニスを続けたものの立場的にも非常に苦労したので、正直この部活に出会うまでは、好きなテニスができなくとも雰囲気が良ければもうどんな部活動でもかまわな

い、という気持ちがありました。しかし、この部活に初めて参加した時、叶わないものだと思っていた自分の思い描く部活像が目の前にあったので、私は感銘を受けました。先輩と後輩、そして同期にも恵まれ、気付けばこの部活動が、私の大学生活を鮮やかに彩ってくれていました。

私も今では主将という立場になり、同期の医学部の主将、幹部とともに部活の雰囲気作りに励んでいます。これまで先輩方が築き上げてきたものを維持しつつ、新しいことに挑戦することは難しいことではありますが、来年度新たに入学する1年生に、私と同じ気持ちを抱いてもらえるような、そんな部活動にしたいと思っています。

部活動紹介のはずが半分ほど余談になってしまいましたが、ここから医歯学ソフトテニス部の雰囲気を少しでも感じ取っていただけたら幸いです。

最後になりますが、私の所属する歯学部ソフトテニス部を立ち上げた6年生の先輩に、この場をお借りしてお礼申し上げます。たった1人で、設立に至るまで大変な苦勞をされたと思います。テニス部のみんなに出会えたこと、今の私があることもすべて先輩のおかげです。6年間、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。



筆者一番左下